

新年のごあいさつ

清須市長 加藤 静治



明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃は市政運営にご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、自然災害に多く見舞われた年でした。特に8月の集中豪雨による広島での土砂災害、9月の御嶽山の噴火では多くの尊い命が失われました。犠牲になられた方々の冥福を心よりお祈りするとともに、引き続き防災対策に傾注する意を強くする思いであります。

その一方で、6月には「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録決定し、10月には「青色発光ダイオード(LED)」を開発した赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏がノーベル物理学賞受賞者に選ばれるなど国内が湧いたニュースもありました。

政治経済に目を向けますと、昨年4月の消費税引き上げ(8パーセント)とともに、GDP(国内総生産)の60パーセントを占める個人消費の低迷により景気が思うように回復せず、依然日本経済は厳しい状況が続いており、原発再稼働や集団的自衛権など政策課題も山積しています。清須市におきましても、全国市長会を始め地方六団体と連携し、景気低迷からの脱却及び地域経済の活性化等を図るため、国に対し積極的な措置を講じるよう提言をしたところです。

さて、本市におきましては、安全・安心でおいしい給食の安定供給と食育の推進を目指し、建設を進めてきた「新・学校給食センター」が完成し、昨年9月から供用を開始しました。

また、防災対策として、災害時において避難所運営等に率先して携わっていただく地域防災リーダーの養成講座を実施し地域防災力の強化に努め、浸水被害対策の一環として、芳野ポンプ場整備事業を始め幹線管渠整備事業、ポンプ場長寿命化事業など継続して整備を行いました。さらに、東日本大震災の被災地人的支援として、従来の福島県広野町に加え、宮城県東松島市にも職員を1名派遣しております。

消費税率引き上げに伴う経済対策では、国・県の施策に呼応して「臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金・子育て支援減税手当」を支給し、健康の分野では、感染症予防対策として子どもの定期予防接種を県下協力医療機関で、BCG予防接種の個別接種を地域の指定医療機関でできるよう実施体制を整えました。

また、新清洲駅前周辺整備のため、「新清洲駅前周辺まちづくり課」を8月に設置しました。今後、名鉄名古屋本線高架化事業と併せて土地区画整理事業を進めてまいります。

そして、合併以来の懸案事項でありました庁舎の再編に向けて、本庁舎の増築・改修の実施設計と本庁舎周辺の公共施設(新川体育館、新川ふれあいセンター及び新川学校給食センター)の解体工事を進めています。

こうした状況の中、清須市は平成27年7月に節目となる合併10周年、また9月には東海豪雨災害から15周年を迎えます。

本市が誕生して以来、市民の皆さんの交流の輪が広がり、徐々に市としての一体感の醸成が進んでいると感じています。これまでと同様、絆を大切にするまちづくりを継続し、災害時の記憶を風化させることなく防災対策に取り組み、「安全・安心、そして快適で元気な清須」の実現に向け、この節目の年を希望に満ちた未来へつなげる新たなスタートにしたいと思います。

結びにあたり、市民の皆様の今年一年のご多幸とご健康を心から祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

新年のごあいさつ

清須市議会議員 伊藤 嘉起



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた平成27年の新春を健やかに迎えのことに、謹んでお慶び申し上げます。

また、平素より市議会活動並びに市政運営に対しまして、温かいご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年は市議会議員選挙が行われ、22名の議員が誕生いたしました。現在、新たな気持ちのもと、精力的に議会活動を行っております。

年の初めにあたり、議会といたしましても22名の議員が総力を結集し、清須市第1次総合計画に掲げられた市の将来像である「水と歴史に織りなされた安心・快適な環境都市」の実現に力を注いでまいります。

昨年を顧みますと、日本経済は金融緩和や経済対策などの政策効果でデフレ脱却に近づきつつあるとの見方が相次ぎ、個人消費の動向が今後の焦点との指摘も聞かれました。

本年は、清須市が誕生して10年目という大きな節目の年を迎えます。今後も地方自治体にとっては、非常に厳しい財政状況が続くと予想されていますが、限られた財源をどのような施策に充てるべきか、市議会といたしましても議員一人ひとりが責務を全うし、議会の場で議論を尽くし、将来の清須市のあるべき姿をしっかりと見定め、市政に提言していくことが私たち議員の重要な使命であると思います。

市議会が、執行機関の監視役としての役割を果たすだけでなく、分権化の時代にふさわしい政策提言や審議機能の充実につとめ、市と一体となって進めるべきものについては議員一丸となって市と協力し、問題解決や市民の社会福祉向上のため邁進する覚悟であります。

頻発するゲリラ豪雨と称される集中豪雨や、近い将来発生が予想されている南海トラフ巨大地震などの災害に備え、更なる防災力の強化を図っていかねばなりません。防災対策は喫緊の課題であり、行政の力が一段と注がれることとなりますが、私ども市議会といたしましても、精一杯の支援をしてまいりたいと考えております。

今後も市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、益々複雑・多様化する社会情勢の中、適切な行政施策を把握し、市政に反映しながら、福祉の充実と「安全・安心な住みよいまちづくり」に誠心誠意取り組む所存でございます。

また、市議会自体も議会改革の中で、主体的な判断力と自己責任のもと、議会の情報を的確に市民の皆様にお伝えする取り組みを進めることにより、議会の公開性・透明性を高め、身近で信頼される議会を目標に「開かれた議会」を目指してまいります。

結びにあたり、今後ともご期待に応えるよう決意を新たにしておりますので、どうか本年も相変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、心からお願いするとともに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新春を迎えて

愛知県知事 大村 秀章



あけましておめでとうございます。

昨年は、リニア新時代を見据えた大都市圏づくりに向け、県政各般にわたり、様々な取り組みに力を注ぐとともに、「ESDユネスコ世界会議」、「技能五輪 アビリンピックあいち大会2014」の開催などを通じ、愛知を大いに発信できました。

今年も、「あいちビジョン2020」の着実な推進を図りながら、更なる飛躍を目指してまいります。

まず、世界に発信する「中京大都市圏」づくりです。2027年度のリニア開業による5千万人の大交流圏の実現をにらみ、鉄道・道路・空港・港湾などの機能強化を進めてまいります。

また、燃料電池自動車を始めとする自動車産業の高度化、航空宇宙産業やロボット等の次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援などとともに、農林水産業のパワーアップを図り、「産業首都あいち」の実現を目指してまいります。

そして、愛知を支える「人づくり」に全力で取り組み、すべての人が輝き、活躍する愛知づくりを進めてまいります。

さらに、スポーツ大会の育成・招致に取り組むとともに、今年を「あいち観光元年」と位置づけ、愛知の魅力を高め、積極的に発信してまいります。

こうした取り組みのほか、グローバル展開、安全・安心な地域づくり、「環境首都あいち」に向けた取り組み、地方分権・行財政改革、東三河県庁を核とした地域振興などにも力を注ぎ、愛知の総合力を高めてまいります。

引き続き、「日本一元気な愛知」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

新年の署長挨拶

愛知県西枇杷島警察署長 本田 俊彦



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、平成27年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、平成26年の西枇杷島警察署におきましては、地域住民の皆様が安心して暮らせる安全な街づくりのため、「2市1町の安心・安全」を目標に掲げ、犯罪抑止対策、交通死亡事故抑止対策、青少年非行防止対策、災害対策など各種警察活動を推進しました。

この間、2市1町の自治体をはじめ、地域の皆様や各種団体による犯罪抑止活動や交通安全運動などの警察活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

平成27年の西枇杷島警察署におきましては、昨年に引き続き、「安心」して暮らせる「安全」な2市1町の街づくりを目標に掲げ、各種警察活動を署員一丸となって進めてまいりますので、昨年同様、皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。